



交通事故統計情報の オープンデータ化の推進状況

平成31年3月15日

交通事故統計情報のオープンデータ化の推進状況

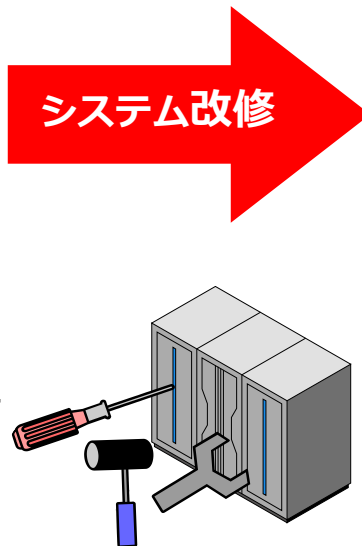
1. 取組方針（官民データ活用推進基本計画・施策No.2-15）

平成30年度

- 交通事故統計情報の公開に係る運用方法、システム要件を決定



- ・ ニーズの把握
- ・ 公開項目の検討
- ・ 公開フローの検討



平成32年度

- 平成32年度中の全国統一基準によるオープンデータ化を目指す。

- ・ 二次利用可能性
- ・ 機械判読可能性
- ・ 無償性



2. 官民ラウンドテーブルでの御提案事業者からの意見（H30.3.27）

「交通事故情報…をオープン化いたしまして、…ビッグデータと組み合わせ、解析することで、…地域住民、さらには観光地を訪れる方々の安全・安心につながる」

交通事故統計情報のオープンデータ化の推進状況

3. 平成30年度中の検討状況

①ニーズの把握

- 前記官民ラウンドテーブルの御提案事業者から個別のニーズ把握を実施

⇒ **項目**: 個別の事故の日時、場所（緯度・経度）、当事者種別

⇒ **データ様式**: 全国統一 **公開頻度**: 年1回



②公開項目の検討

- 上記で把握した事業者のニーズを考慮

- 加えて、オープンデータ化により、事故当事者の重要なプライバシーを侵害すること
がないよう配慮しつつ、最大限、公開することができる項目を検討・選定

⇒ 検討状況は次ページ



③公開フローの検討

- 上記で把握した事業者のニーズや、データアップロード作業に要する行政コストを考慮

⇒ 一年分のデータを、CSVファイルにより無償公開（2020年4月開始予定）

交通事故統計情報のオープンデータ化の推進状況

4. オープンデータ化予定項目

- 発生地点（緯度、経度）
- 発生日時（年、月、日、時、分）
- 当事者種別
（乗用車、貨物車、二輪車等。各項目については、大型車、中型車の別等、さらに細分化）
- 市町村コード
- 事故内容（死亡、負傷）
- 年齢（不明、01～24歳、25～34歳、35～44歳、45～54歳、55～64歳、65～74歳、75歳以上）
- 車両の衝突部位（自動車等（前、右、後、左、右前、右後、左後、左前）、
二輪車等（前、右、後、左））等

※ 赤下線は、官民ラウンドテーブルでの御提案事業者から公開要望があった項目